

令和3年度経営発達支援計画実施状況報告書

新温泉町商工会

1. 地域の経済動向調査に関すること

①中小企業景況調査

令和2年度に引き続きコロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令があり経済活動の停滞が起こっており、会員向け経営アンケート調査を4半期ごとに実施し結果を新温泉町と共有し、事業者支援策の策定に活用した。(4年度のコロナ交付金、集客補助に反映)

②地域雇用情勢調査

③但馬の経済指標

④RESAS(地域経済分析システム)

地域雇用情勢調査は豊岡公共職業安定所の情報から有効求人倍率、求人者数、求職者数を4半期ごとに取りまとめ、但馬の経済指標は但馬県民局の情報から業種別業況、貸付残高の情報を4半期ごとに取りまとめを行った。RESAS(地域経済分析システム)からは観光入込の状況の取りまとめを行った。

(RESAS 以外は商工会ホームページ掲載。各種調査結果は別データで掲示)

2. 経営状況の分析に関すること

小規模事業者の経営状況の分析は、経営分析セミナー(11月16日)を1回開催し、出席者5名が経営状況の分析を行った。セミナーでの分析支援のほか専門家派遣や職員による計画策定支援に伴う経営分析支援実績は22回であった。

3. 事業計画策定支援に関すること

小規模事業者の事業計画策定支援は、経営革新セミナー(7月20日、7月29日)、事業計画作成セミナー(11月26日)の3回のセミナーに延べ26名の参加者があった。セミナーの参加者のほか、専門家派遣や職員による計画策定支援を32社行った。そのうち補助金申請に伴うものでは4件(持続化1、新事業展開3)の採択、融資に伴うものでは5件が実行された。

創業者向けセミナーは9月7日から10月5日にかけて5日間のセミナーを開催し9名の参加があった。セミナーの参加者と専門家による個別相談並びに職員による相談支援により7名の新規創業があった。

4. 事業計画策定後の実施支援

事業計画策定後のフォローアップ支援は、前年度の計画策定者を含め支援実績は職員によるものが延べ56回の実績となった。

創業計画策定後の実施支援では、昨年からの創業者を含め17名の創業の支援を行い計画策定後の

実施支援を行い延べ支援回数は 48 回であった。

5. 需要動向調査に関すること

農水産加工品の調査は但馬牛まつり、浜坂みなどカニまつりで実施する計画となっているがコロナウイルス拡大の影響により開催中止となり実施できなかった。しかし、農産加工品の試食調査を 1 件実施しており評価結果は事業者にフィードバックした。

宿泊業の需要動向調査はコロナウイルス感染拡大があり実施できなかった。

情報誌・業界紙調査は実施できなかった。

(宿泊業の需要動向調査結果は R E S A S の調査を別添)

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

本事業は、小規模事業者の需要開拓支援のため、商談会等出展支援、プレスリリースセミナーを開催し事前の支援を行い。商談会等への出店で効果を上げるために行う事業であるが、出展支援を行う予定であったアグリフード EXPO は開催中止。シーフードショー大阪は開催時期が延期となり令和 4 年 4 月の開催となったが 1 社の支援を行った。その他観光商談マッチングはオンラインでの商談になったが 1 社の参加に 6 回の商談があった。フードスタイル関西には 1 社の支援を行ったがコロナ感染が広がり出展を断念した。海外プロモーションでは、新温泉町のプロモーションがオンラインで 5 社、トラベルマートにはオンラインで 3 社の出展があった。E C 支援ではニッポンセレクトが出展支援に変わったため、とっとり市の案内を行い 1 社の出展があった。

7. 地域活性化に資する取組に関すること

グルメ開発事業は、浜坂地えびメニューの開発、販売促進支援を行っており新規参加者 4 社、合計 23 社で事業を実施した。販売実績は 5,232 食、18,637 千円であった。

観光ルート開発は未実施であった。

8. 他の支援機関との連携

兵庫県商工会連合会との連携では職員向け研修会参加実績はオンラインでの開催が多く延べ 54 回の参加実績があり計画どおりの連携ができた。

日本政策金融公庫との連携では、マル経協議会のほか職員と担当者の個別の協議を実施しており 3 回の実績となった。

地域金融機関との連携は、商工会と金融機関の協議 1 回、新温泉町の金融連絡会議 1 回の 2 回の実績となった。

町観光協会等の連携は絆コンファレンスでの協議を対象としているが、コロナウイルス感染拡大の影響により十分な協議ができず実績は 2 回であった。

※絆コンファレンス……商工会、観光業界、旅館組合、漁協をメンバーとし、観光にかかわる事業の情報交換を行い重複する事業は共同で行うなど事業の無駄を省き連携して実施することにより事業効果を上げることを目的に設立。

9. 経営指導員等の資質向上

連携機関の講習会参加実績は兵庫県商工会連合会の講習会に延べ54回参加し経営指導員等の資質向上に努めた。

個別支援への帯同では専門家派遣に職員が同席して専門家の支援ノウハウの習得に努めるもので24回の実績であった。

OJT実績は、経験の長い職員が若手職員を帯同して経営支援を行うことによりノウハウの共有を図るもので72回の実績であった。支援ノウハウは経営カルテにより、他の職員支援状況の確認ができるようにしている。経営カルテ登録件数は延べ2,609件であった。

経営支援会議は職員相互に事業者支援情報の共有を図るための打合せを行うもので、朝礼や職員会議の際に支援情報の共有を行っておりいずれかの会議を毎週行っている。またグループウェアを活用し情報の共有は常に行っている。

10. 事業の評価見直しをするための仕組みに関すること

経営発達支援事業の実施状況を評価するため、事業評価委員会を11月15日、2月25日の2回開催し事業の評価を行った。評価委員会は外部有識者として大阪商業大学池田教授、事業者代表2名、行政から1名で構成しており、評価結果については経営発達支援事業推進委員会において協議を行い事業実施に反映させる。

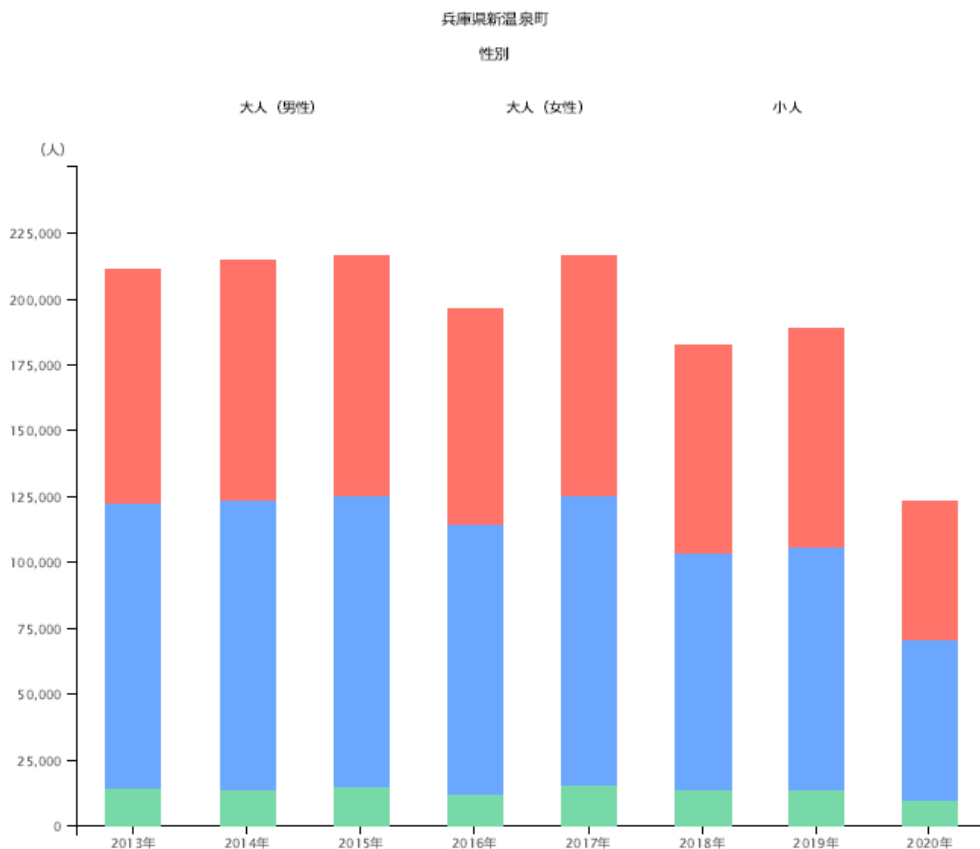
令和3年度の取り組み結果について

経営発達支援事業は、小規模事業者に寄り添いながらの支援を実施するものであり、令和3年度も令和2年度に引き続き小規模事業者の支援件数は多かった、ただ、本来の前向きな取組を支援するのではなく、事業を維持するための支援が多くありました。このような経済環境が厳しい状況下でも、新規創業計画や販路開拓の計画を立て実行する事業者もたくさんあり、新温泉町商工会では、事業者支援のノウハウを積み重ね小規模事業者の伴走型支援に取り組みしていきます。

1. 宿泊者数の推移

兵庫県新温泉町（RE S A S）

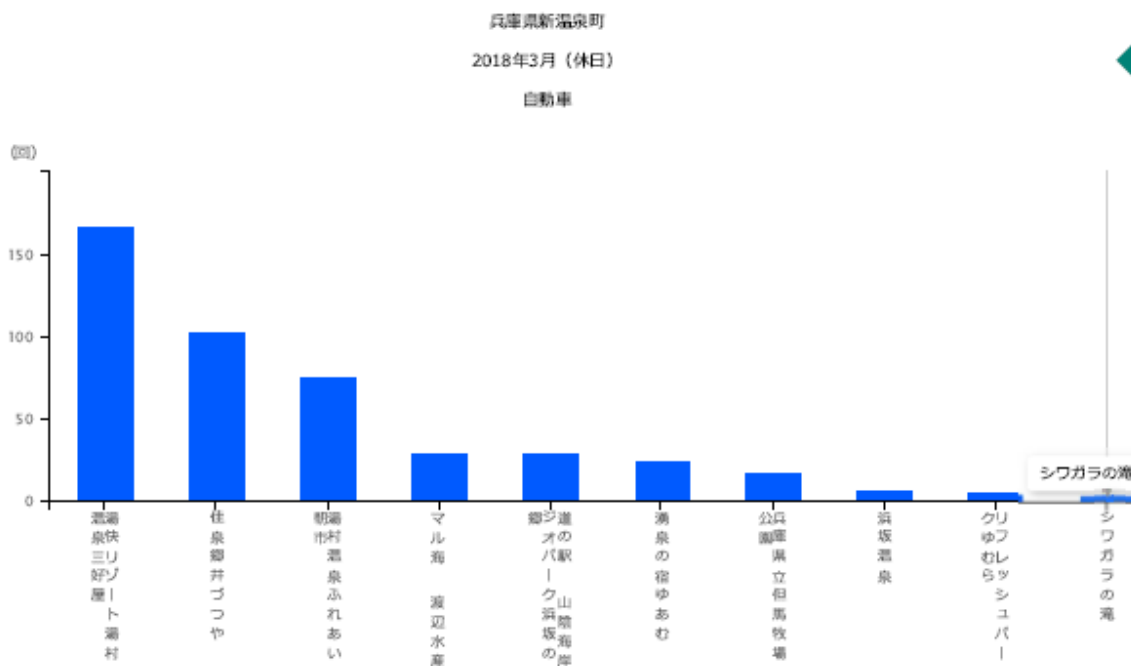
延べ宿泊者数（総数）の推移



新温泉町の宿泊者数は2019年までは増減をしながらも20万人前後を示していたが、2020年コロナ禍の影響で宿泊施設の休業もあり大きな減少となった。

2. 旅行の目的地

指定地域の目的地一覧

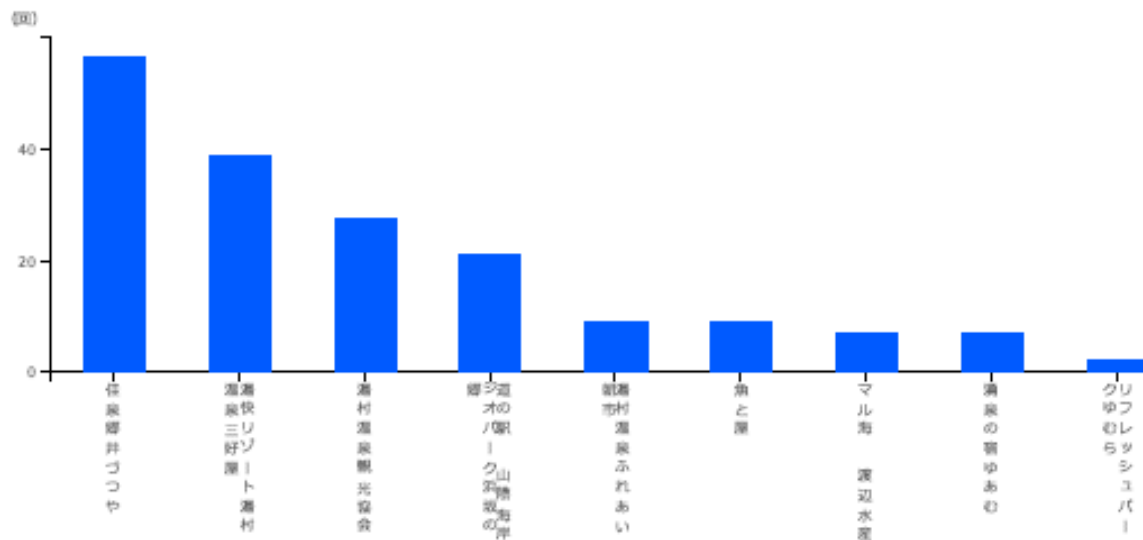


指定地域の目的地一覧

兵庫県新温泉町

2021年3月（休日）

自動車



新温泉町内の目的地のデータは、コロナ前の 2018 年は宿泊施設以外も目的地としてあがっていたが、コロナ禍の 2021 年では宿泊施設以外のスポットが減っている。町を訪れる人も減っているが町内の観光スポットを巡る人も減少していた。

REASAS：国が設置している地域経済分析システム <https://resas.go.jp>

人口であったり、産業構造などのデータを、地域を絞って取り出すことができます。事業計画策定の基礎資料の抽出もできるので活用ください。